unify
東日本ユニオンNIIGATA
http://niigatachihon.yukigesho.com/
2022年3月25日発行
第62号（通巻579号）
JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者:星山 圭　編集者:教育・広報部

3月18日付
申15号

「ツーマン運転の快速列車を異常時にワンマン運転で運行したこと」に対する申し入れ提出！

２０２２年１月１２日に信越線柿崎~柏崎間が強風により終日運休となりました。そのため柏崎駅で折り返し運転が行われ、通常直江津始発ツーマン運転の快速３３７１M列車をＥ１２９系２両編成のワンマン列車として柏崎～長岡間運行しました。Ｅ１２９系には、ワンマン快速のＲＯＭ設定は設けられていないため、ワンマン機器を扱えず、停車駅において車掌ＳＷを扱ってお客さまの乗降扱いを行いました。この扱いは、運転士が運転台を離れドア扱いを行う安全上の問題と、自動放送が流れないというお客さまサービスの視点からも運行を優先させたと認識せざるをえません。東日本ユニオンは、本事象の背後要因を明らかにし、再発防止策を講じた安全・安定輸送と質の高いサービス提供の確立を求め、申１５号を申し入れました。

■申１５号申し入れ項目　■

1．ワンマン運転の定義を明らかにすること。
2．ワンマンNFBを扱わず、ワンマン運転が出来ると判断した根拠を明らかにすること。
3．ワンマンドアスイッチを扱わず、車掌スイッチによりドア扱いを行うことにより発生するリスクに対する考え方を明らかにすること。
4．Ｅ１２９系車両においてワンマン機能を扱ってワンマン運転が出来ない場合は、運休または、車掌乗務とすること。
5．今後、このような取り扱いを行わないために、文章等による記載と周知を行うこと。

東日本ユニオンに加入しよう！